

新春を飾る消防出初式



▲4方面隊合同の8色一斉放水



▲人員・服装点検をする伊藤市長



▲精悍に徒歩行進する消防団

新春の恒例行事「旭市消防出初式」が区長さんをはじめ大勢の来賓を迎え1月15日、穏やかな天候のもと、消防団・消防署員1,000人が参加して、スポーツの森公園芝生広場で開催されました。式辞で市長は、「ボランティアである消防団の皆さんが市民の生命・財産を守ってくれることは、市民にとって、とても心強いことです。これからも引き続き、頑張ってください」と感謝と激励の言葉をかけました。

その後、人員・服装点検と機械器具点検が行われ、徒歩行進と新春にふさわしい8色の水を使った一斉放水も披露されました。また、長年消防活動に尽力されてきた方や地域の消防活動に貢献があった分団・部に表彰状、感謝状が231人と6団体に贈られました。主な受賞者は次のとおりです。(敬称略、なお消防団の名称に付いている方面隊は省略しています。旭＝旭方面隊など)

【千葉県知事表彰】

〈功労章〉

深堀賢治（団本部分団長）、浪川甚一郎（海上第2分団分団長）、向後義和（飯岡第4分団分団長）、伊東清（干潟第3分団分団長）

〈精勤章〉

林浩道（団本部分団長）、伊藤明正（干潟第1分団長）、金澤俊和（旭第4分団副分団長）、伊藤孝男（海上第2分団第3部部長）、鈴木弘志（海上第2分団第4部部長）、石毛正彦（飯岡第4分団第2部部長）、菅谷博昭（飯岡第4分団第2部班長）、多田秀人（消防本部・消防司令補）、平野喜吉（消防本部・消防司令補）

【千葉県消防協会長表彰】

〈功労章〉

山口正巳（飯岡第1分団副分団長）、石毛克美（飯岡第4分団副分団長）、青柳正晴（海上第2分団第4部班長）、来栖哲行（消防本部・消防司令補）

〈精勤章〉

平野昌宏（団本部分団長）、菅谷光夫（団本部分団長）、金杉光信（干潟第4分団分団長）、加瀬和宏（旭第1分団副分団長）、島田武之（海上第1分団副分団長）、宮内正紀（海上第2分団副分団長）、木内兼一（海上第3分団副分団長）、宮崎正明（干潟第2分団副分団長）、向後昌一（飯岡第4分団第2部班長）、石毛庄市（飯岡第4分団第2部班長）、堀川金一（海上第2分団第4部団員）、向後一洋（飯岡第4分団第1部団員）

防犯灯設置で 明るい安全なまちに

まちを明るくして、安全で安心した生活が送れるようにと、地域社会への貢献活動の一環として東京電力㈱成田支社が防犯灯25基を市へ寄贈しました。市では、子どもたちをはじめ、市民の皆さんが事故や犯罪に遭わないよう、暗い夜道の解消に役立てます。



▲目録を市長に手渡す東京電力銚子営業所長

あさひトピックス

総合計画策定市民会議を発足



新市のまちづくりの指針となる総合計画の策定に当たって、広く市民の皆さんの意見や考えを反映集約できるように、旭市総合計画策定市民会議が発足しました。メンバーは知識・見識を持った方や公募で応募された市民30人で構成され、初めての会議が昨年12月21日、市役所で開催されました。

委嘱書の交付と市長あいさつのあと、「住民とともに発展していくまちづくりと企業のすがた」と題して（株）山万常務取締役林新二郎さん（＝旭市出身）から講演をいただきました。「まちづくりはそこに住む人の立場で進めていかなくては、よいまちはつくりえない。住民の皆さんとの交流から、まちづくりに何が必要か分かってくる。そして、旭市には人を呼び込むような元気な市になって欲しい」と話されました。

積雪が多い越冬地避け コハクチョウが旭市に飛来

干潟八万石で知られる穀倉地帯の海上・高生地区や干潟・秋田地区の水田などに、100羽を超えるコハクチョウの群れが1月に訪れ、二番穂を啄ばんだり、優雅に大空を飛んだりしていました。田んぼには、珍しいコハクチョウを見ようと、見物客も集まり、写真を撮ったりしている光景も見られました。地元のお年寄り「これまで、こんなに多いハクチョウは見たことない、珍しい」と話していました。



▲海上支所北側に飛来し、二番穂を啄ばむコハクチョウ



▲干潟地域・秋田の広域農道東側で休むコハクチョウ

旭農高で直売所がオープン

地域の皆さんと旭農高・生徒の交流の場として、直売所が昨年12月26日オープンしました。ビニールハウスで作られた直売所には、ほうれん草、サツマイモ、イチゴ、卵、小鉢に入った花などが取り揃えられ、どれも学校の実習で、生産された新鮮なものばかり。開店日には近所のお母さん方が、切れ目なく買い物に訪れ、評判も上々でした。

開催日時／毎週月曜日・午前11時～午後3時 ※祝日・学校行事・代休日の場合は休み

場所／校内直売所（図書館北側）

販売品目／旭農高農場で生産された農産物と加工品
問い合わせ先／旭農高（☎62-0129）



▲直売所の運営は生徒が行っています

自治宝くじ助成で 埴新町区民館にフェンスを設置 足川岡コミュニティセンター・児童遊園に植樹

▼埴新町区民館に設置されたフェンス



▲足川岡区に植樹されたモチノキ



埴新町区では、区民館のフェンスが老朽化したため、宝くじ助成を受け、新しくフェンスを設置しました。フェンスの設置で、安心して子ども会や老人クラブ活動ができるほか、町内行事等での利用向上、安心して遊具で遊べるなど、環境整備の向上とともに、コミュニティ活動がより一層活発になります。

また、足川岡区では、宝くじ助成を受け、コミュニティセンターおよび隣接する児童遊園に、ツツジやサザンカの生垣などが植えられました。この植樹により、環境も整備され、管理や手入れも世代を越え共同で行われることで、より一層コミュニティ意識の醸成が図られます。